

子ども医療費助成の拡大、子育て支援フェアについて

アナ： 「市長が語る 2018 三島」第 24 回の今日は、「子ども医療費助成の拡大と子育て支援フェア」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 早速ですが、三島市では、子ども医療費の助成対象を、この 10 月から高校生相当年齢まで拡大すると伺っています。

市長： そうですね。現在は、生まれたばかりの赤ちゃんから中学生までの入院・通院にかかる医療費について助成することで、窓口での自己負担を無料としています。が、本年 10 月からはその対象年齢を拡大し、高校生相当年齢まで無料とさせていただきます。

アナ： 子育て中の家庭にとっては、安心して子育てができ、そして、経済的にもありがたい制度だと思います。

市長： そうですね。少子化が進む中で、次代を担う子どもたちが健やかに成長するための環境づくりは大変重要です。

高校生相当年齢まで対象を拡大することで、部活動などスポーツに夢中になって取り組んでもらうなど、充実した高校生活を送ることができるようバックアップしてまいりたいと考えています。

これまで、親御さんからは、「高校生になると、いきなり大人と同じ医療費の負担になるのが大変です。」という声もお聞きしておりました。子育てにおける経済的負担の軽減につながることを願っています。

アナ： 対象年齢の拡大は、子どもさんにとっても親御さんにとっても心強いですね。

市長： ありがとうございます。

私が市長に就任いたしました翌年の平成 23 年 10 月に、それまでは中学校 3 年生までを対象に、入院・通院に係る医療費について 1 日あるいは 1 回につき 500 円の自己負担をお願いしていましたが、通院については未就学児は無料、入院は中学生まで無料といたしました。

さらに、平成 27 年度からは、通院に係る医療費を中学生まで無料にし、子ども医療費助成制度の拡充を継続して図ってきたところです。

アナ： 子どもをもつお父さんお母さんの子育て支援に寄せる期待は大変大きいと思います。子ども医療費助成の拡大と併せて、今後も引き続き、子育て支援の充実をお願いしたいところです。

市長： そうですね。引き続き取り組んでまいります。

子育て支援の充実といいますと、今年度も 10 月 10 日から 14 日までの 5 日間、イトーヨーカドー三島店を会場に、「三島子育て支援フェア」を開催いたします。

アナ： 昨年、大変多くの親子連れで賑わっていたフェアですね。

市長： そうですね。この子育て支援フェアは、平成28年度からスタートしまして、今年で3回目を迎えます。イトーヨーカドー三島店様、日清プラザ様のご協力と、子育て真っ最中のお母さん方が運営している「子育て支援団体」と連携する中で、子どもさんや親御さんの笑顔あふれるイベントとして定着しています。

アナ： 異なる分野の皆さんが一堂に会し、「オール三島」で子育て世代を応援していく想いが伝わるイベントです。

「FMみしまかんなみ」も、昨年度に引き続き、イベントに協力させていただきたいと思っています。

市長： それはありがたいですね。よろしく願います。

今年も、各種ステージイベントや、お子さんが楽しめるワークショップのほか、三島市からは図書館や健康づくり課、子ども保育課など幅広い部署からブースを出展し、5日間、日替わりで楽しめるイベントを企画しておりますので、ラジオをお聞きの皆様も、ぜひ期待いただければと思います。

アナ： 5日間、満喫できそうですね。

市長： そうですね。

また、この秋には、市内の小学校5年生と中学校2年生の全児童とその保護者の方を対象に、生活の実態や家庭の状況等について伺う「子どもの生活実態調査」を実施する予定です。

アナ： その調査の目的は何でしょうか。

市長： 私は常々、すべての子どもは生まれ育った環境によって左右されることなく、健やかに育つ社会でなければならないと考えています。

この調査をとおして、子どもやその家庭を取り巻く実態を把握し、三島市が取り組まなければならない支援や必要な施策を、幅広く検討してまいりたいと考えています。

アナ： なるほど。

実態調査が更なる素晴らしい子育て施策につながることを期待しています。
豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。